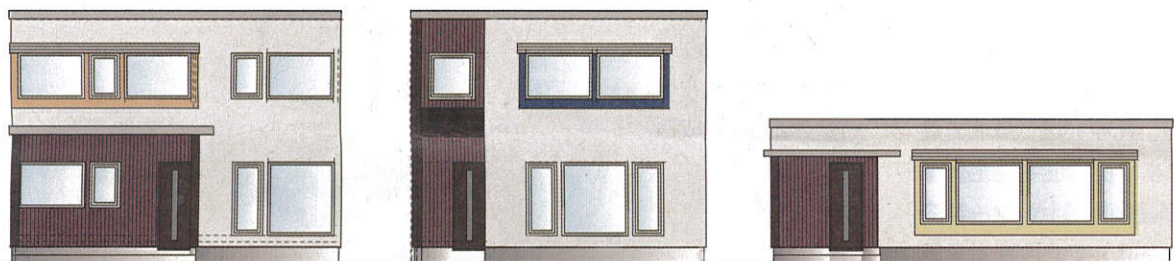


斜里・丹羽設計企画

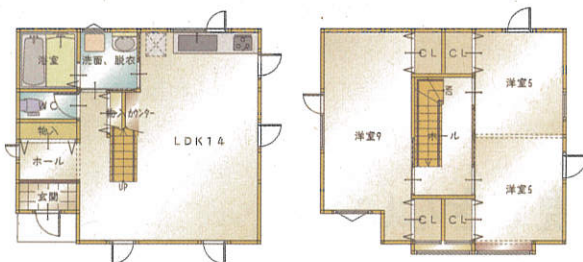
よりシンプルに、より経済的に

新企画型住宅「style-K」開発



2階建て2プランと平屋1プランを用意

オホーツク・斜里町の(株)丹羽設計企画（丹羽豊文社長）では、シンプルな形状・仕様と無駄を省いたプランによって高い性能を維持しつつイニシャル・ランニングコストを抑えた企画型住宅「style-K」（スタイル・ケイ）を発売開始。要望があれば同社も採用しているファース工法の加盟店へも提供していく考えだ。



2階建て27坪プランの間取り図

消費税率アップや復興増税、社会保険料増額によって一般家庭の可処分所得が減少すると、住宅取得にかけられる費用は少なくなり、月々の生活費も圧迫される。札幌など大都市では賃貸や中古物件という選択肢もあるが、地方ではそれも不足しており、特にファミリー向け賃貸は供給数が非常に限られている。

そこで同社では、3年前から30代の子育て世代など一次取得者向けのリーズナブルな企画型住宅として販売している「FEEL-J」（フィール・ジェイ）よりも、さらに住宅取得と生活費にかかるユーザーの経済的負担を軽減できる企画型住宅として「style-K」を開発。3つのプランを設定した。

外壁面積が少ない正方形の総2階建てとしたシンプルな形状は「FEEL-J」と同様だが、ファース工法や塗り壁・無垢材による内外装を採用していた「FEEL-J」に対し、「style-K」では断熱のみファース工法の仕様を取り入れ、内装は自然塗料仕上げのカラ

マツ合板やシナベニヤ、外装はガルバリウム鋼板としたほか、2階の天井高は2.1mとするなど設計・施工の合理化を進めることでイニシャルコストを低減。価格を2階建ての36坪プランで1500万円、同27坪プランで1200万円、平屋の18.5坪プランで1100万円とした。

また、2.1mの2階天井高によって小さくなった暖房容積をヒートポンプエアコン1台で暖房し、出窓のある部屋の壁には蓄熱材も施工してパッシブソーラー機能を持たせることで、暖房費を抑える考え。

同社の丹羽社長は「建てやすい価格であることはもちろん、生活する中で少しでも光熱費や維持管理費を軽減できる住まいを目指した。合板による内装仕上げとしたのは、『新築だから家の中に傷が付かないように』と気を遣うストレスから解放してあげることも狙いの一つ」と話している。